

コロナ脳を解いて 暮らしの回復

第2回コロナ対策市民総点検

日 時：5月23日（日）午後2時～5時

場 所：汐入産業交流プラザ第1研修室

参加費：1,000円

第1部 コロナに脅かされない医療の基礎知識

元遺伝子研究医の萬田緑平さんと、医療ジャーナリスト鳥集（とりだまり）徹さんが、PCR検査はコロナ診断には適さない事。日本では感染率、死亡率とも低く怖がる必要はない事。テレビに出る医師専門家は危機ばかり煽るのか？など。メディアのコロナ洗脳報道と医療崩壊を理由に緊急事態宣言を繰り返す政府や自治体の愚策を暴く対談講演で、コロナ脳から解放します。是非お聞き下さい。



萬田緑平（まんだ りよくへい）

1964年生。91年群馬大医学部卒。2017年前橋で緩和ケア萬田診療所開設。1400人以上を在宅で看取る緩和医療医師。コロナ自粛政策を厳しく批判。



鳥集徹（とりだまり とおる）

1966年西宮市生。同志社大学卒。2004年からジャーナリストとして週間誌等で医療関係執筆。『新薬の罠』（文春）で日本医学ジャーナリスト協会大賞を受賞。

第2部 コロナ騒動この1年3ヶ月の暮らし破壊検証

時短や自粛強要による経済影響、飲食店、タクシー運転手などからの報告。自殺者は市や県でどう増えているか、生活保護の状況などを市議・県議より報告。保健所の対応PCR-増幅回数を含めて市議より報告。飲食店が本当に感染源なのか！エビデンスの追及。緊急事態出したり止めたり繰り返して、経済と暮らし破壊をさせないための意見交換。

※緊急事態宣言により会場が使えなくなる事も考えられます。宣言発出の場合は立憲主義を守るよこすか市民の会のホームページを確認してご来場下さい。HPが見られない方は下記連絡先へ電話、メール等で確認下さい。

※鳥集さんと7人の医師の対談『コロナ自粛の大罪』（宝島社新書）が好評発売中。

共同開催 立憲主義を守るよこすか市民の会 よこすか・やすらぎの会 県議、市議、弁護士
連絡先 一柳方 EX-11 umihiro@bc.mbn.or.jp ☎/FAX 046 (897) 5561

